

■お申込みについて

一時払保険料	【最低】200万円 【最高】5億円 ※1万円単位	契約年齢範囲	0歳(生後15日以上)～80歳
運用期間	10年・15年・20年 ※年金支払開始日に90歳をこえない範囲となります。		

■主な保障内容について

年金	被保険者が年金支払期間中の年金支払日に生存しているとき、毎年定額の年金をお支払いします(年金支払期間:5年・10年)。
死亡給付金	被保険者が運用期間中に死亡したとき、死亡した日末の基本保険金額、積立金額、解約返戻金額のいずれか大きい額をお支払いします。

■税務について

解約	解約の際に差益があるときは、その差益について次のとおり取り扱われます。	
	契約日から5年以内の解約 ……源泉分離課税	契約日から5年超の解約 ……所得税(一時所得*)+住民税
年金	【ご契約者と年金受取人が同一人の場合】	
	毎年の年金の取扱い ……所得税(雑所得)+住民税	年金の一括払いの取扱い ……所得税(一時所得*)+住民税

* 一時所得については、他の一時所得と合算して年間50万円限度の特別控除があります。
一時所得の課税対象額＝[収入(受取額)－必要経費(払込保険料)－特別控除(50万円)]×1/2
※この資料に記載されている税務の取扱いについては、2026年2月1日現在の税制・関係法令等に基づく内容であり、将来変更となる場合があります。個別の税務取扱等については、税理士や所轄の税務署等にご確認ください。

❗ リスクについて

- この保険は株価・金価格・債券価格の下落等による損失のおそれがあります。
株価・金価格・債券価格の下落、為替の変動等により、積立金額や解約返戻金額が一時払保険料を下回ることがあります。
- この保険は金利変動による損失のおそれがあります。
市場価格調整を行うため、金利変動により、解約返戻金額が一時払保険料を下回ることがあります。

❗ 費用について — この保険では次の費用の合計額をご負担いただきます。 —

- ①保険関係費
ご契約の締結・維持等に必要な費用、死亡給付金の最低保証、運用実績連動部分の年金原資額の最低保証、年金原資最低保証額を確保するために必要な費用です。
・定率部分の保険関係費：積立利率を定める際にあらかじめ控除します。この費用は、契約日および運用期間等によって異なることがあるため、一律には記載できません。
・運用実績連動部分の保険関係費：特別勘定の資産総額に対して年率**2.90%**の1/365を運用実績連動部分の積立金から毎日控除します。
- ②運用関係費
●特別勘定の運用にかかわる費用です。特別勘定の資産総額に対して年率**0.20%**の1/365を運用実績連動部分の積立金から毎日控除します。
●上記の費用以外に、特別勘定が主な投資対象とする指数連動債券の参照指数に対して次の費用がかかります。これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、ユニットプライスに反映することとなります。
(1) 指数連動債券の参照指数の計算・公表その他の運営にかかる費用：指数値に対して年率**0.85%**
(2) 複製費用：指数の運営・取引にかかる費用です。この費用は、事前に水準を確定することが困難なため、水準を表示することはできません。
- ③解約をした場合の費用(解約控除)
契約日から10年未満の解約の場合に必要な費用です。基本保険金額に運用期間および経過年数に応じた解約控除率(**6.0%～0.4%**)を乗じた金額を解約時に控除します。
- ④年金支払期間中の費用(年金管理費)
年金支払管理に必要な費用です。年金支払日に支払われる年金額に対して**0.23%**を控除します。年金額は、この費用を控除する前提で算出されますので、費用が年金額から差し引かれるものではありません。
- ⑤終身保険移行日以後の費用
「定額終身保険移行特約」を付加して定額終身保険に移行する場合、災害死亡給付金の支払いや保険契約の維持等に必要な費用です。移行後の積立利率を定める際にあらかじめ控除します。この費用は、終身保険移行日等によって異なることがあるため、一律には記載できません。
- ※これらの費用の一部は将来変更される可能性があります。
※この商品のリスクおよび費用の詳細は、「ご契約のしおり・約款」「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」でご確認ください。



・この商品は、FWD生命を引受保険会社とする生命保険です。預貯金とは異なり元本保証はありません。
・特別勘定の運用実績、解約時の市場金利等により、損失が生じる場合があります。

運用実績に応じて将来の年金原資額、年金額等
が変動するしくみの変額年金保険です。

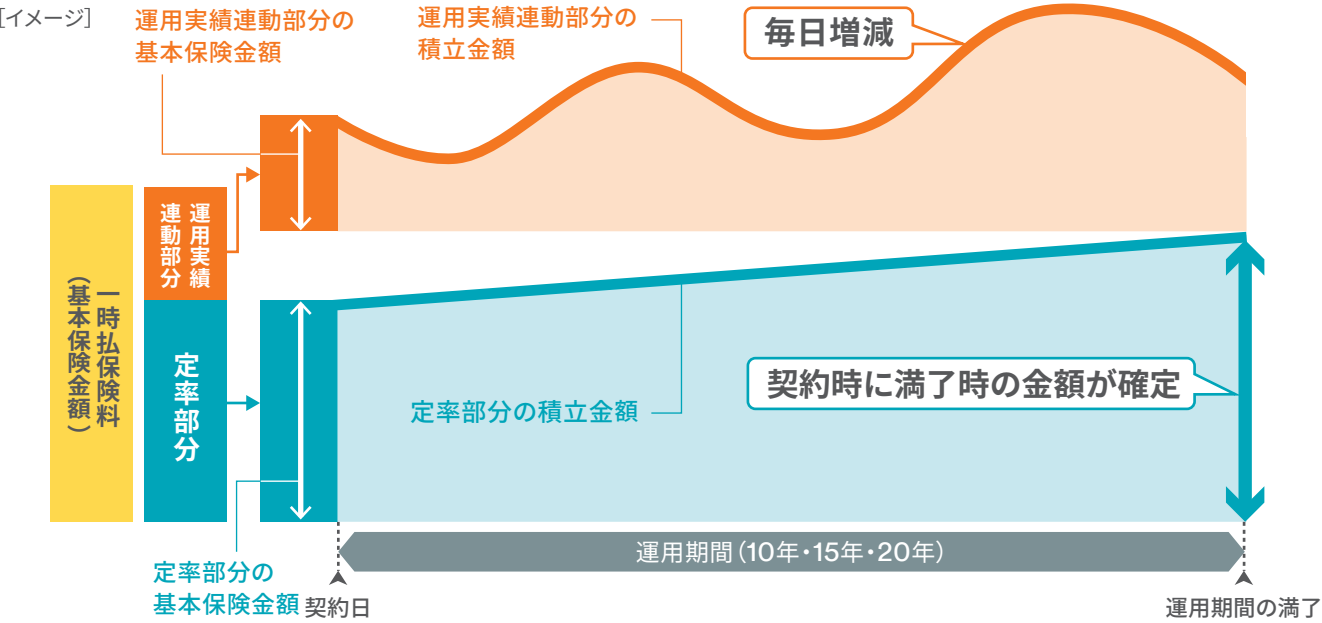
FWD円建一時払変額年金

年金原資確定部分付変額年金保険



お申込みいただいた保険料を定率部分と運用実績連動部分に分けて運用します。

- 定率部分** **着実にふやします**
契約日時点の積立利率で着実に運用する部分です。運用期間の満了日の積立金額が**契約時に確定**します。
- 運用実績連動部分** **積極的に運用します**
特別勘定で積極的に運用する部分です。積立金額は運用実績により**毎日増減**します。



※定率部分の基本保険金額と運用実績連動部分の基本保険金額は、FWD生命所定の計算方法により決まります(お客さまご自身で定率部分および運用実績連動部分に充当する金額を指定することはできません)。

運用期間の満了後、確定年金や一時金で受け取ることができます。



ふえたりへったり
するってこと？



最終的に元本割れ
しないのかしら？

運用実績を自動的に確保
する仕組みがあります。



年金原資額は一時払保険料
を下回りません*。



* 運用期間満了まで契約を継続する必要があります。途中解約をした場合、解約返戻金額は一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

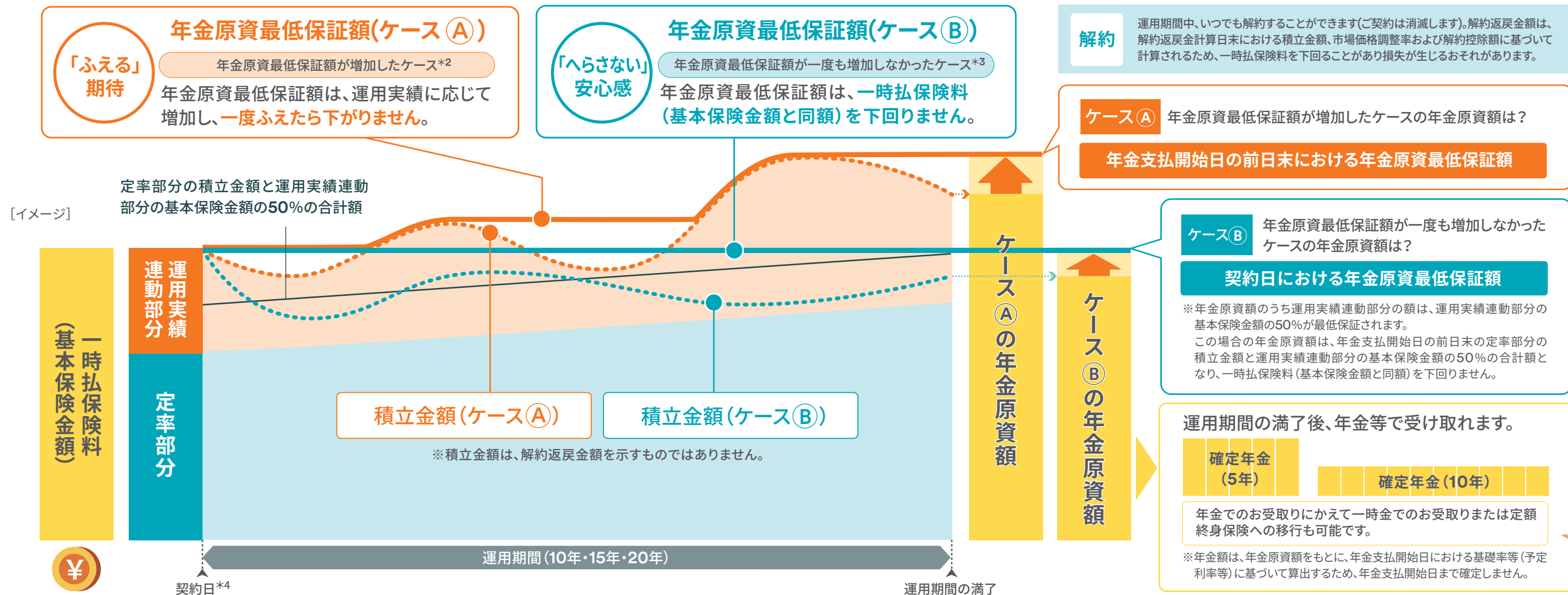
では、FWD生命が自信をもっておすすめするこれらの機能について詳しく見てみましょう ➡

●この資料は、2026年4月1日現在のお取扱い内容に基づき作成しています。 ●この資料では、保険商品の概要をご案内しています。保険商品の詳細については、「パンフレット」、「契約締結前交付書面(契約概要・注意喚起情報)」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」、「保険設計書」をご確認ください。 ●生命保険募集人は、お客さまとFWD生命の保険契約締結の媒介を行う者で、保険契約締結の代理権はありません。したがって、保険契約は、お客さまからの保険契約のお申込みに対してFWD生命が承諾したときに有効に成立します。 ●この保険は、変額保険販売資格が登録された生命保険募集人のみが募集することができます。

引受保険会社	募集代理店
FWD生命保険株式会社	フロンティアライフ株式会社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-2-5 日本橋本町二丁目ビル	https://www.frontier-life.com
ホームページ fwdlife.co.jp	
総合サービスセンター 0120-211-901(通話料無料)	
受付時間：月-金(祝日・年末年始を除く) 9:00-18:00	

「ふえる」期待と「へらさない」*1安心感を円建でかなえられる保険です。

*1 年金原資額が一時払保険料を下回らないことを指します。なお、この商品では、解約返戻金額等が一時払保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。



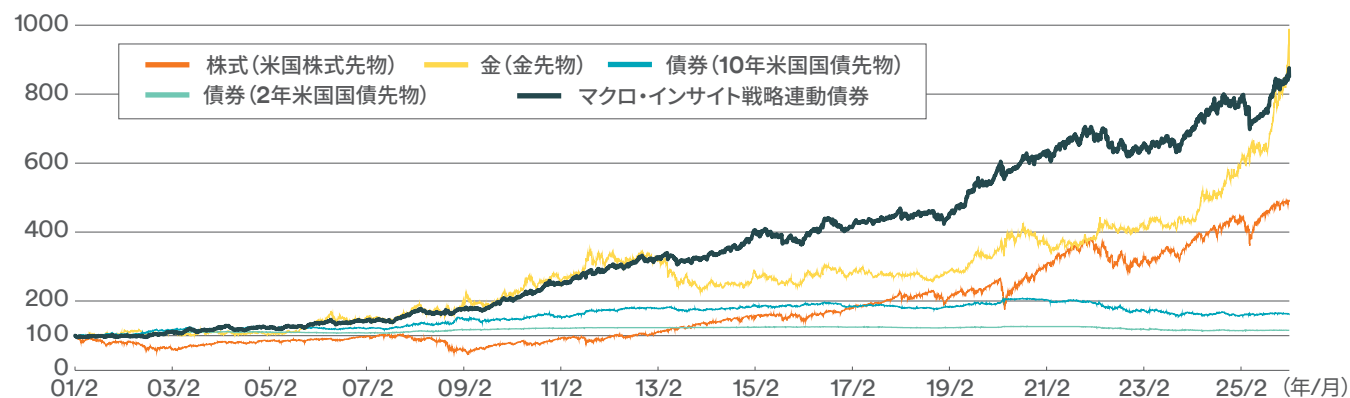
*2 特別勘定による運用の開始日以後の積立金額が契約日における年金原資最低保証額を上回ることがあった場合をいいます。 *3 特別勘定による運用の開始日以後の積立金額が契約日における年金原資最低保証額を一度も上回ることがなかった場合をいいます。
*4 特別勘定による運用の開始日は、「申込日から起算して8日目の日」、「FWD生命がご契約のお申込みを承諾した日」、「契約日」のいずれか遅い日(その日がFWD生命の営業日でないときは翌営業日)の翌日となります。
※年金原資運用実績連動保証特約を付加した場合のお取扱いです。この特約は、あらかじめ主契約に付加されています。 ※上図はイメージであり、将来の積立金額や年金原資額等を保証するものではありません。

運用実績連動部分における特別勘定の運用方針等について

株式・金および債券を用いて分散運用を行う指数連動債券への投資を行います。なお、市場環境の変動に応じて分散運用の投資配分を切り替え、さらにボラティリティ・コントロールを行うことで、中長期的に安定的な特別勘定資産の拡大を目指します。

特別勘定群の名称	特別勘定の名称	主な投資対象となる指数連動債券	指数スポンサー
特別勘定群Ⅰ型	3資産バランスⅠ型	マクロ・インサイト戦略連動債券	ゴールドマン・サックス・インターナショナル

【ご参考①】各資産の価格の推移(2001年2月1日～2026年1月31日) ※2001年2月1日を100として算出



【ご参考②】年金原資額のシミュレーション 一時払保険料:1,000万円

※年金原資運用実績連動保証特約付加の場合

	運用期間 10年 積立利率:0.50%	運用期間 15年 積立利率:1.00%	運用期間 20年 積立利率:1.50%
最高額	約1,186万円 (118.6%)*5	約1,669万円 (166.9%)*6	約2,454万円 (245.4%)*7
最低額*8	約1,088万円 (108.8%)*5	約1,389万円 (138.9%)*6	約2,082万円 (208.2%)*7
平均額	約1,138万円 (113.8%)*5	約1,552万円 (155.2%)*6	約2,274万円 (227.4%)*7

*5 2001年2月から2016年2月の各月初に運用を開始し、10年間運用したと仮定した181ケースを集計し、算出。 *6 2001年2月から2011年2月の各月初に運用を開始し、15年間運用したと仮定した121ケースを集計し、算出。 *7 2001年2月から2006年2月の各月初に運用を開始し、20年間運用したと仮定した61ケースを集計し、算出。 *8 記載の「最低額」は、シミュレーション結果の数値であり、実際の年金原資額は「最低額」を下回る可能性があります。 ※カッコ内の数値は一時払保険料に対する年金原資額の割合となります。 ※算出にあたり保険関係費・運用関係費を控除して計算しています。 ※このシミュレーションでは、運用実績連動部分も運用開始日(契約日)に運用を開始したと仮定し算出しています。

【ご参考①】の各資産の価格の推移および【ご参考②】の運用実績連動部分の年金原資額は、「マクロ・インサイト戦略連動債券」と同じ手法によって運用したと仮定した場合のもので、【ご参考②】に記載の積立利率は仮定の利率で、実際のご契約に適用される積立利率とは異なります。また、積立利率は定率部分の積立金に適用される利率であり、一時払保険料全体に対する実質的な利回りではありません。【ご参考①】【ご参考②】のシミュレーション結果は、仮定の数値等であり、「FWD円建一時払変額年金」の実際の運用成果を示したものではありません。また、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。